

# 野外運動研究室ニュースレター

編集：筑波大学野外運動研究室広報係発行  
発行：筑波大学体育系野外運動研究室  
〒305-8574 つくば市天王台1-1-1  
TEL/FAX 029-853-6339  
URL <http://yagai.tsukubauniv.jp/>

## 【巻頭言】

### 野外研 8ヶ月目の今、思うこと

大友 あかね(MC1)

先日の50周年記念式典では研究室の歴史を肌で感じ、改めてすごい場所に足を踏み入れてしまったものだと実感しました。この記念すべき年に、たまたま大学院に在学し、この研究室に所属している幸運を嬉しく思います。

私は、学群時代は障害のある人のスポーツを扱う研究室に所属しており、大学院からこの野外運動研究室で勉強しています。学群3年次の社会教育施設での実習をきっかけに、野外運動研究室の門を叩いたわけですが、何も知らずに、キャンプって楽しいな。野外研って面白そう。と、足を踏み入れてみたら、そこは、日本の野外運動のまさに中心地。知らなかったと言っても、もう遅い。野外ド素人の私には、少々荷が重すぎる、“筑波野外”の看板。さらには、残念なことに同期はゼロ。全く予期していなかった過酷な状況に向きあうこと、8ヶ月。体型だけは野外人らしくなってきたのではと自負しております。

毎日先生方や先輩方にご面倒をおかけしつつ、ロープの結び方やらザックのパッキング方法やら、本当に初歩的なことから学んでいます。そんな私ですが、野外研にきて、ひとつ心がけていることがあります。それは、いつまでも少年少女のような心でいること。自分の気持ちに素直に、キラキラした目で世界を見つめる少年のように、私もいつだってワクワクドキドキしながら野外の世界を眺めていたい。目一杯、心の扉を開いて、見て感じてやってみて、私に関わること全てを吸収したい。あれもこれも、全部。限られた時間の中で、焦りにも似た感覚を持ちながら、学べることは一つ残らず自分のものになりたい、と思いながら日々過ごしています。

0からのスタートで、たった2年間の間にどこまで学べるだろうか。到達地点では到底敵わない、先輩方、後輩たち。だけど、2年間の成長量だけは負けたくない。そう思いながらの毎日です。たった2

年間。されど2年間。まだまだ、未熟者ですが、この研究室を出るときには、「筑波野外の出身です」と、胸を張って言える人間になっていたいと強く思う、そんな野外研8ヶ月目の今日この頃です。

## 【行事報告】

### ○野外運動研究室 50周年記念会

山川 晃(MC2)

10月11日(土)に、1964年に野外運動研究室が設立されて50周年となったことを祝う記念式典と祝賀会が開催された。研究室の大きな節目となるイベントとして、教員を中心に準備が進められてきた。当日は100名近くのOB・OGとその家族、また現役の研究室教員・学生が参加した。5C216教室で記念式典を行った後、野性の森に移動して祝賀会が行われ

た。記念式典では木塚朝博先生(筑波大学体育専門学群副学群長)の式辞に続いて、これまでの研究室の歩みを振り返るスライドショーのほか、歴代の教員からの挨拶、OB・OGによる「野外運動研究室の明日に向かって」と題したパネルディスカッションが行われた。祝賀会は金子和正先



50周年記念式典には大勢の卒業生が集まった

生(東京家政学院大学教授・1981年度修了)による点火に

始まり、OB・OGからの挨拶や「思い出のメロディーショー」と題した余興が行われ、最後に全員で宣揚歌を歌いあげて閉宴となった。多方面でご活躍されている先輩方が互いに近況報告をしたり、思い出話に花を咲かせたりしている様子を見ると、再び気合が入るような思いであった。願わくは50年後、「野外運動研究室100周年記念会」に参加できたらと思う。

## 【正課事業報告】

### ○UG 野外運動方法論演習 I (キャンプ)

大関 久仁(UG3)

[期日] 2014年7月28日～8月3日

[場所] 福島県南会津郡針生地区鳴沼周辺

[参加者] 渡邊(実習担当)、大関、西島、吉沢

UG実習では、例年に習い、グループプロジェクト、

マウンテンバイク活動、燧ヶ岳、至仏山登山、個人別自由活動と多岐にわたる活動を行い、野外生活技術や安全管理、環境倫理等について実践的に理解を深めた。

グループプロジェクトでは、鳴沼キャンプ場予定地の入口に門を製作した。材料等を全て現地で調達し、向こう何十年と建っていて欲しいという思いを込め、味のある門ができあがった。記念として製作年月日とそれぞれのイニシャルを裏面に入れた。

登山では、途中ルートを間違えるといったハプニングもあったが、4人とも無事に帰着し、ほぼ計画どおりに登山を終えた。今回は天候に恵まれていたため、途中の様々な景色や、山頂からの壮大な一望など、大自然を肌で満喫することができた。ゴールした際の達成感、安堵感は、言葉ではなかなか現せないが、各々にとって貴重な経験となった。

今回のキャンプは非常に密度の濃い時間となり、専攻生それぞれが自身の成長を感じることができたと思う。キャンプ中3人とも「野外研でよかった」と口を揃えて言っていたことから、今回のキャンプが非常に実りあるものになったのではないかと感じている。

(そして、この実習後から始まった野球部秋のリーグで西島が大活躍。この実習で得た粘り強さが生きている(?)に違いない。)



UG キャンプ実習尾瀬登山にて。

### ○MC 野外教育実習 (キャンプ)

大友 あかね(MC1)

[期日] 2014年8月28日～9月3日

[場所] 福島県南会津郡針生地区鳴沼周辺

[指導者] 渡邊、山川(TA)、藤田(TA 補助)

[参加者] 体育学専攻大学院生 13名(野外大友含む)

MC 野外教育実習が実施された。様々な研究室から受講生が集まり、計画段階の授業の時から終始賑やかであった。実習では、南会津町鳴沼のほとりをベースキャンプに、沢登り、マウンテンバイク、尾瀬登山、個人別活動を行った。4日目と5日目に行われた尾瀬登山は、グループごとに計画を立て、テントを担いでの山行であった。登山は初めてという受講生がほとんどだったものの、全ての班が無事ゴールすることができた。キャンプが終わってから2ヶ

月以上経つ今でも、学校で会う度に挨拶を交わしたり、食事に行ったりなど、その後も親交が続いていることがなよりの収穫である。

### ○体育センター キャンピング

[期日] 2014年9月22日～25日

[場所] 筑波大学野性の森

[指導者] 坂本、向後、山川、大友

### 【課外事業報告】

#### ○藤村女子高等学校八ヶ岳キャンプ実習

佐藤 冬果(MC2)

[期日] 2014年7月8日～12日

[場所] 藤村女子中学・高等学校八ヶ岳学習舎

[指導者] 渡邊、佐藤、藤田、大友、庄司、北川、安



キャンプ最終日。スタッフのチームワークも高まった。

毎年恒例の藤村女子高校キャンプ実習の指導を行った。2クラス61名の生徒を対象に、キャンプ生活、沢遊び、登山、クラフトなどの指導を行った。多少台風通過の影響も受けたが、全てのプログラムを予定通りに終えることができた。子どもたちが来る前は不安気だったスタッフ達だが、子どもを前にするとみるみるカウンセラーの顔になっていく様子を目の当たりにし、プログラム係として初めてカウンセラーを務める後輩たちを見て、改めて、子どもたちにとっても、スタッフ自身にとってもキャンプの持つ教育力の大きさに驚かされた5日間であった。

### ○南会津アドベンチャーキャンプ

中村 綱希(UG4)

[主催] TOEL

[期日] 2014年8月3日～8日

[場所] 福島県南会津郡針生地区緑の広場周辺

[指導者] 渡邊、向後、佐藤、藤田、北川、安、庄司、中村、吉沢

未だに夏のキャンプシックが治らないツナマヨです。キャンプに参加してくれたのは5、6年生の23名。僕はこのキャンプ自体には、3年生の夏の実習のときに少しだけ参加していましたが、6日間を通して帯同するのは初めてだったので、ワクワクとドキドキを抱えながらこのキャンプを迎えました。

キャンプ初日に子どもたちを出迎えたときに、リ



ピーターが意外と多くて、感動の再会といった感じがしたのを覚えています。キャンプのプログラムとしては、ナイトハイク、沢遊び、野菜収穫、登山、個人別活動（焼き板、ネームタグ作り、野菜ジャム作り、沢遊び）、登山生還パーティーなどたくさんのプログラムが行われました。

子どもたちがどれも楽しそうに一生懸命に取り組む姿を見ていると、僕も小さいときにこういうキャンプに参加しなかったなあ、うらやましい気持ちになりました。子どもたちにとって特に印象的だったのはやはり登山だったようで、登山後のお帰りパーティーのときに、みんなに感想を聞いてみましたが、「しんどかったけどそれ以上に楽しかったし、達成感があった。」「沢登りはとっても怖かったけど、勇気を出して登り切れてよかった」と口々に言っているのを聞いて、野外活動の素晴らしさを身をもって感じる事ができたんだなと思いました。

キャンプ最終日前日の夜には、広場でキャンプファイヤーをする予定でしたが、あいにくの雨のため、屋内にてキャンドルファイヤーをしました。スタンプでは各々の班が、工夫を凝らしたユーモアに富んだスタンプを披露してくれて、子どもたち、スタッフ一同笑顔のあふれる時間になりました。

そしていよいよ最終日、閉村式で整列した子どもたちを見ていると、もうすぐこのキャンプも終わってしまうんだなあとうやく実感が湧いてきました。子どもたちの表情にも寂しさが見えましたが、その顔は初日の開村式とはちがひ、どこかたくましく見えました。きっと各々がこのキャンプでいろいろなことを感じ、また一回り成長したからかなと思います。最後は泣かないと決めていたんですが、スタッフ一同で作った歌をみんなで一緒に歌っているときに、子どもたちの泣いている姿が見えた瞬間、涙がぼろぼろあふれてきました。ああ、まだまだみんなとキャンプしていたいなという思いでいっぱいでした。

今も卒論でキャンプのことを思い返すと、涙が出そうになる僕ですが、いつかまたみんなに会える日が来るといいなと思います。キャンプ最高！！南会津最高！！



南会津アドベンチャーキャンプ。

「楽しかった人～？」

## ○筑波大蹴球部 ASE

川崎 渉(UG4)

[期日] 2014年8月21日

[場所] 筑波大学野性の森

[指導者] 坂本、向後、大友、佐藤、山川、川崎、中村

蹴球部 TSC チームを対象に ASE を実施した。これは川崎の卒業論文のための調査も兼ねており、川崎が調整役も務めた。9:30に集合し、全体でのアイスブレイクを行ってから、午前と午後わたりグループワークを実施した。当日は、30度を超える猛暑の中の活動だったが、プログラムは順調に進んで行き、すぐに緊張感も溶け、それぞれのグループで活発な意見交換が見られた。与えられた課題に対して初めは「そんなことできるの？」という雰囲気だったが、それでも意見を出し合い、積極的に課題に挑戦する姿が印象的であった。最後に全員で行った課題では自然とポジティブな意見が飛び交い、課題をクリアした時には歓声が上がって、見ているほうも嬉しくなるような雰囲気だった。この日の ASE を通じて参加した選手たちが感じたことや考えたことを、是非これからの生活やサッカー活動に生かして欲しいと思った。

## ○なでしこキャンプ

北川 武(UG4)

[期日] 2014年9月6日～7日

[場所] 筑波大学野性の森

[指導者] 井村、大友、藤田、北川、安

[主催] TOEL

[後援] つくば市少年少女サッカー連盟

つくば市サッカー協会 U-12 委員会

[協力] 筑波大学女子サッカー部



なでしこキャンプ。井村キャンプ長の背中は大変大きい。

2日間をかけて、つくば市周辺のサッカーをしている少女を対象としたなでしこキャンプが実施された。この事業は、キャンプ事業の企画・運営を行う大学院生向け授業「野外運動論実習」の一環である。仲間作りゲームや食事作り、そしてサッカー教室などの活動を通して、最初は不安そうだった参加者にも多くの笑顔が見られるようになった。いつも男子の中に囲まれてサッカーに励む同じ境遇の少女た

ちが新たな仲間に出会う良い体験となったのではないだろうか。

### ○茨城県ジュニア選手育成強化プログラム

佐藤 冬果(MC2)

[期日] 2014年11月8日  
[場所] 筑波大学野性の森  
[指導者] 渡邊、佐藤、大友

茨城県の各市町村から集まった、各スポーツ競技で活躍している中高生を対象に、ASEが行われた。午前中は中学生、午後は高校生。短い時間であり、加えて知識や技術を「教わる」訳ではない研修に戸惑っている様子もあったが、同じ県内でスポーツに励む仲間同士、親睦を深めるいい機会になっているようであった。個人的に印象深かったのは、高校1年生の男の子が「この研修は、今の時代に必要な活動だと思った」と感想を述べていたこと。高校生でも、ASEのような直接的な体験学習の意味や必要性を感じているんだなあ、と、考えさせられるコメントであった。

### ○鹿嶋市高校生会『しゃべり場』

[期日] 2014年6月28日～29日  
[場所] 筑波大学野性の森  
[指導者] 渡邊、向後、佐藤、大友、藤田

### ○青葉台初等部野性の森遠足

[期日] 2014年7月5日  
[場所] 筑波大学野性の森  
[指導者] 向後、佐藤、山川、大友、藤田、北川

### ○人間総合科学研究科グループワーク

[期日] 2014年7月16日  
[場所] 筑波大学野性の森  
[指導者] 坂本、渡邊、佐藤、大友、藤田

### ○NECラグビーフットボール部チームビルディング研修

[期日] 2014年7月18日  
[場所] 筑波大学野性の森  
[指導者] 坂本、向後、佐藤、大友、北川、藤田

### ○筑波大学芸術専門学群フレッシュマンセミナー

[期日] 2014年7月6日、7月20日  
[場所] 山中共同研修所  
[指導者] 1回目：渡邊、佐藤、藤田、大友  
2回目：向後、山川、大友、北川

### ○TSI (Tsukuba Summer Institute) 野外パーティー

[期日] 2014年7月21日  
[場所] 筑波大学野性の森  
[指導者] 渡邊、佐藤、大友、藤田、庄司

### ○柏レイソルアライアンスアカデミー野田ASE

[期日] 2014年7月26日

[場所] 筑波大学野性の森  
[指導者] 渡邊、山川、藤田

### ○とわの森三愛高校野外研修

[期日] 2014年10月9日  
[場所] 筑波大学野性の森  
[指導者] 坂本、向後、佐藤、山川、大友

### 【個人実践報告】

#### ○白馬岳登山

佐藤 冬果(MC2)

[期日] 2014年7月3日  
[場所] 長野県白馬岳  
[参加者] 佐藤、吉沢



山頂は強風。雲の隙間から見える景色に感動。

白馬猿倉から入山し、大雪渓、頂上宿舎を経由、白馬岳山頂に向かうピストンコースで白馬岳登山を行った。当初の予定では杓子岳、鐘岳と縦走し檜温泉に入って猿倉に降りるコースを予定していたが、天候悪化が予想されたため予定変更。なぜか1泊分の荷物を背負ったまま、日帰りピストンで駆け上がった。

白馬村出身の吉沢が頂上で感慨深そうに立っている姿をしみじみと見つめながら、地元の山に登る意味のようなものを感じた登山であった。

そして何より、前日入りから、当日の夜まで、吉沢家に2泊3日も滞在してしまった。美味しい手料理でもてなして下さった吉沢ママ様、本当にありがとうございました。

#### ○南アルプス縦走登山

大友 あかね(MC1)

[期日] 2014年8月16日～18日  
[場所] 南アルプス 白峰三山  
[参加者] 大友、安

上記の日程で、個人実践「白峰三山縦走登山」を実施した。北岳、間ノ岳、農鳥岳の白峰三山を3日間かけて縦走した。1日目、2日目と天気が優れず、雲の中を歩いているような気分であったが、3日目には天気が回復し、遠くの山々まで見渡す事ができた。私にとっては、初めて自分で計画した山行であり、非常に印象に残るものとなった。3日目は疲労でほとんど無言で山を下ったが、今年度卒業するであろう安とのいい思い出ができた。登山中はもう二



度と山に登りたくないとの思いが強かったが、帰りの車の中ではもう次の登山のことを考えており、登山の魅力に取り憑かれてしまった山行となった。



同期2人の仲も深まった。

### ○北アルプス涸沢ツアー(オプションツアー)

吉沢 直(UG3)

[期日] 2014年11月3日～4日

[場所] 北アルプス上高地～涸沢

[参加者] 渡邊、佐藤、大友、吉沢

オプションツアーとして、北アルプス登山が実施された。場所は長野県上高地、涸沢周辺。参加者は4名である。上高地から雪がちらついており、風景が秋山から冬山に変わっていく様子を見ながら、涸沢に到着。積雪のせいもありエアリアの時間よりも時間がかかった。涸沢の積雪は20cmほどであり、雪を踏み固め、テントを張り、身を寄せ合って一晚

を過ごした。2日目の朝は雲一つない快晴で、昇る太陽が山々を赤く照らすモルゲンロートを見ることができた。赤く染まった涸沢に包まれたあの感覚は忘れられない。しかし、予定よりも積雪が多く、装備も足りなかったために、2日目の北徳高岳登頂は断念し涸沢から上高地へピストンで降りた。自然の大きさを改めて感じ、先生の偉大さ、仲間の有難さを感じる旅となった。



上高地にて、雪景色の穂高連峰をバックに。

### ○ダイビングライセンス取得&無人島キャンプ

[期日] 2014年9月14日～20日

[場所] 沖縄慶良間諸島

[参加者] 大友、藤田、安、庄司

#### 【編集後記】

前号は6月発行。間が空いてしまいすみませんでした。その分(?)、このニュースレターにはたくさんの活動報告が載りました。夏を経て、多くの活動に室員で関わり、個々の力も、チームとしての力もグイグイ成長した気がします。これからは冬のシーズン。これからも、実践を積みながらパワーアップしていきたいと思います。

佐藤冬果(M2)



穂高連峰にうつるモルゲンロート。